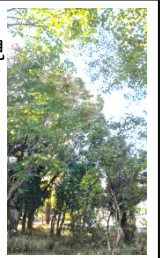




<教育目標>

持続可能な社会の実現
のために行動できる
将来の担い手となる
子どもを育てる

- よく考える子
- 心ゆたかな子
- 元気な子
- やりとげる子



五本木の森

 あなたは 世界にたった一人の大切な人
 ～「目黒区子ども条例」から～

校長 海老江 直子



新年あけましておめでとうございます。保護者・地域の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。本年が皆様にとりまして、希望に満ちた充実した一年になりますことをご祈念いたします。

今年は巳年です。蛇は脱皮を繰り返して成長していきます。このことから、成長するために、過去の自分を脱ぎ捨て、新たな自分に生まれ変わるという意味をもち、巳年は変化や成長に恵まれる年とされているそうです。

平成 17 年に「目黒区子ども条例」が公布及び施行されました。その啓発を目的として平成 21 年に絵本「すごいよ ねずみくん」(作 きむらゆういち 絵 鈴木アツコ 発行者 目黒区)が発行されました。絵本「すごいよ ねずみくん」では、主人公はねずみくんですが、多くの動物たちも登場します。物語は、ここから始まります。・・・「ボクってダメなやつだから。」ねずみくんは いつも そうおもっていました。・・・

みんなでピクニックに出かけた先で、ねずみくんが「ボクって だめなんだよね」と思う出来事が次から次へと起こります。しかし、あることをきっかけにして、ねずみくんは走り出しました。それがこの表紙の場面です。そして・・・

目黒区のホームページでは、作者のきむらゆういちさんから、「この物語のねずみくんのように自信がなくて失敗ばかりしていても、必ずいい所があるものだし、サルくんやきつねさんのように強そうに見えても必ず弱い所もあるものです。そして、子どもはみんな絵本の主人公。大切なのは、たとえ小さくてもその声を周りがちゃんと聴いてあげることです。ボクはそんな子どもたち一人ひとりを温かく見守ってあげたい、そんな気持ちでこのお話を書きました。」というメッセージがありました。目黒区子ども条例では「あなたは世界にたった一人の大切な人です。自分の気持ちを大切にしながら、いきいきと育てほしいとまちの人たちみんなが願っています。」と示されています。

絵本「すごいよ ねずみくん」は全校朝会での紹介し、各学級の学級文庫に3冊ずつ入っています。巳年という変化の年、子どもたちが、世界にたった一人の大切な人として、自分に自信もつ、自分には可能性がある、他者とくらべるのではなく自分をみつめるという気持ちを持ち、しなやかに、柔軟に成長できる年となるよう願っています。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

【1月の行事予定】

日	曜	行事予定
8	水	給食なし 11:00下校(1~4) 12:45下校(5・6)
9	木	安全指導 計測(5)
10	金	計測(4) 13:30 下校
11	土	
12	日	
13	月	成人の日
14	火	計測(3) 5 時間授業 14:20 下校
15	水	計測(2)
16	木	計測(1) 長なわ集会
17	金	目黒区人権教育推進校公開授業
18	土	※元気あっぶ教室
19	日	
20	月	代・委員会 書き損じはがき(～24日) 校内書き初め展(～2月8日)

日	曜	行事予定
21	火	
22	水	クラブ
23	木	社会科見学(5) 和綿プロジェクト(3-1)
24	金	たてわり班活動
25	土	
26	日	
27	月	避難訓練(下校時)
28	火	和綿プロジェクト(3-2)
29	水	クラブ
30	木	めぐろの子どもたち展鑑賞(4)
31	金	とも遊び
2/1	土	※住区雪あそび
2	日	
3	月	

17日(金)の下校時刻は、授業公開がある学級(1-2・2-2・3-1・4-2・5-1・5-2・6-2)は14:30、それ以外の学級は13:00となります。

◆ユネスコスクール 専科の窓◆

「連合音楽会を終えて」

担当 音楽専科 三上 徹

11月29日に行われた連合音楽会では、本校5年生が合唱「ふるさと」合奏「ボヘミアンラプソディー」を演奏しました。曲間には「We will Rock you」を入れて和と洋のコントラストを出した演出に会場はとても盛り上がりました。夏休み明けから担任の先生と一緒に朝練習を行い、難しい器楽のパスセージが演奏できるようになっていく過程はとても大切な経験だったと感じています。

「ふるさと」は無伴奏の2部合唱で、アルトパートの難しい音程の上にソプラノパートの伸びやかな歌声が独特の世界観を創っていました。「We will Rock you」では、オーディションで選ばれた10人の児童が流暢な英語を披露し、そのあとに全員が独特のリズムによって大きな声がパーシモンホールに響いていました。最後の「ボヘミアンラプソディー」では、静かなハーモニーから始まり、変拍子を経てアップテンポに入っていく曲想を見事に演奏し、多くの方からお褒めの言葉をいただきました。

指揮を頼りにする真剣な眼差しがとても印象的でした。皆さん、ありがとうございました。

◆ユネスコスクール 学年の窓◆

「講師の方々の話を聞いて」

担当 6年

6年生は、これまで多くの講師をお呼びし、学習を行ってきました。社会科では原爆についての話を聞き、当時の生活の苦しさや様子など知ることができました。国語の能と狂言では実際に役者として活躍されている方をお呼びし、能と狂言の違いや歴史について学びました。実際に演技をしていただき、体験的な学習を通じて、児童は本物に触れ、教科書やインターネットでは分からない雰囲気や人々の思いを感じ取ることができました。また、ユネスコ学習では、「発電」をテーマに学習を進めています。発電について詳しく知っている保護者の方をお呼びし、電力はどのようにして生み出されているのか、みんなが使っている電力はどこから来ているのかなどのお話をしてくださいました。その際、分かりやすい資料も作っていただいたことで、児童の発電についての学習意欲も高まりました。さらに、総合的な学習の時間では、阪神淡路大震災を経験された方や、東日本大震災の時に物資を届けたことのある保護者の方をお呼びし、当時の様子や、防災などについて話をしてくださいました。11月の学習発表会でもこのときの話を参考にして原稿を考えた児童も多かったです。ご協力をいただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。



<1月の生活目標>

「明るく自分から『あいさつ』をしましょう」

新しい年を迎え、学校には子どもたちの元気な声が戻ってきました。「おはようございます。」「ありがとうございます。」「清々しい「あいさつ」は相手を気持ちよくさせる魔法の言葉です。本校では「五本木小5つのやくそく」や、6年生による「校門あいさつ当番」などで、年間を通して指導してまいりました。また、毎日専科の先生が校門に立ち、担任は教室で子どもたちを迎え入れるように役割分担をしております。令和7年の始まりである1月は、子どもたちが自分から「あいさつ」することができるよう、重点的に指導していきます。